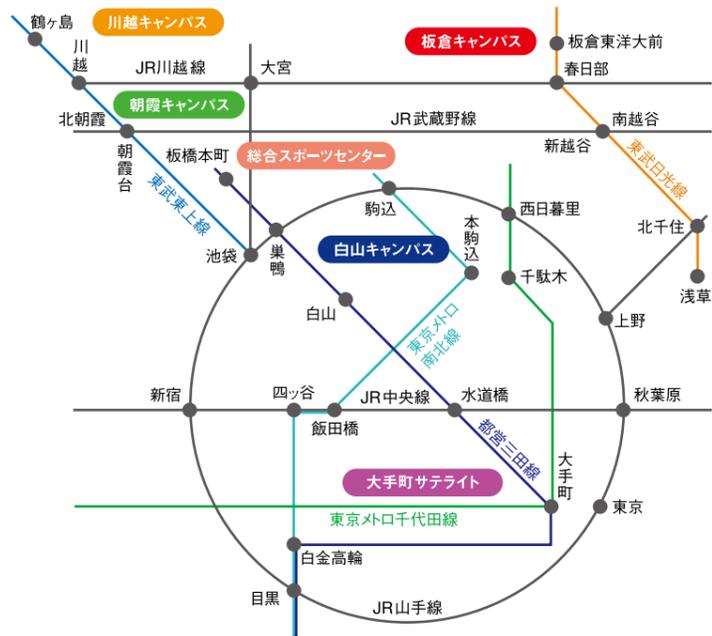


TOYO UNIVERSITY ACCESS



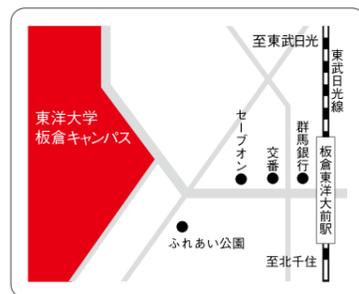
朝霞キャンパス
Asaka Campus
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1
東武東上線「朝霞台」駅から徒歩10分
JR武蔵野線「北朝霞」駅から徒歩10分



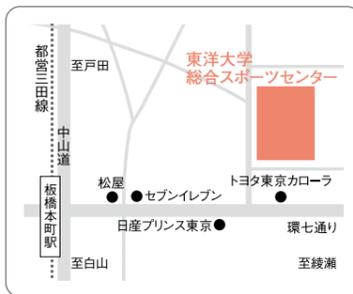
白山キャンパス
Hakusan Campus
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
都営地下鉄三田線「白山」駅から徒歩5分
「千石」駅から徒歩8分
東京メトロ南北線「本駒込」駅から徒歩5分



川越キャンパス
Kawagoe Campus
〒350-8585 埼玉県川越市鯉井2100
東武東上線「鶴ヶ島」駅から徒歩10分



板倉キャンパス
Itakura Campus
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1
東武日光線「板倉東洋大前」駅から徒歩10分



総合スポーツセンター
Sports Center
〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1
都営地下鉄三田線「板橋本町」駅から徒歩7分



大手町サテライト
Otemachi Satellite
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル1F
「大手町」駅B3出口から徒歩1分



哲学する心を、持て。 東洋大学はいま 2013

- To the Future : 125周年記念事業
- Analysis : 数字で見る東洋大学
- 2012 Report/2013 Plan : 事業報告/事業計画
- Founder : 井上円了
- Vision : 理事長/学長
- Philosophy Education : 哲学教育
- Globalization : 国際化
- Career Education : キャリア教育
- Social Contribution Activities : 社会貢献活動
- Organization : 組織概要
- Faculties & Departments : 学部・学科
- Graduate Schools : 大学院
- Research Centers : 研究機関
- Affiliated Expansion Plan : 総合学園計画
- Campus & Facilities : キャンパス/施設

東洋大学



東洋大学

2013年6月発行/学校法人東洋大学 編集/総務部広報課
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 Phone.03-3945-7571 <http://www.toyo.ac.jp>

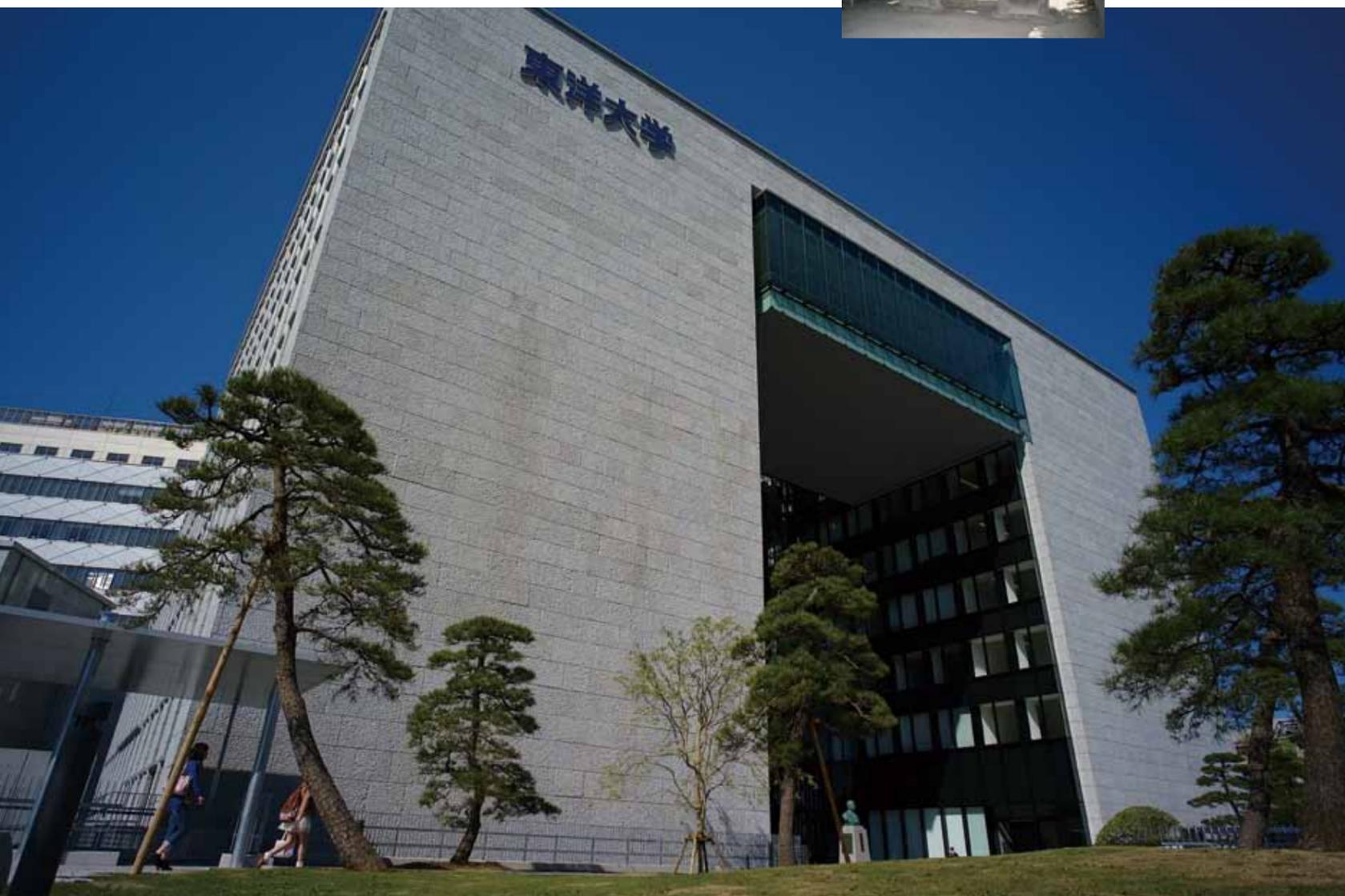
Since 1887

「125周年に続く、次の1ページを歴史に記すための進化と変革」

「哲学すること」その伝統を未来へ

東洋大学では、2012年の創立125周年を機に、さらに未来へと飛躍するため、新しい「ブランドマーク」を制定し、「公式Webサイト」をリニューアルしました。さらに東洋大学のランドマークとなる、「哲理門」をイメージした「125周年記念館」を、2012年11月に竣工しました。

※東京都中野区哲学堂公園
哲理門



白山キャンパスに完成した125周年記念館



新しい【ブランドマーク】

ブランドマークは、東洋大学の教育理念を象徴化したもので、視覚的コミュニケーションの核となる重要な要素です。東洋大学の新しいブランドマークは、人と地球をモチーフに学生がダイナミックにグローバルに世界に向かって羽ばたく姿を象徴しています。また、「哲学」を基盤とし「国際化」「キャリア教育」による「グローバル人材」の育成や、高い志を持って上昇、飛翔していく喜びや未来への期待感を表現しています。

【公式Webサイトのリニューアルオープン】

新ブランドマーク制定に伴い、東洋大学公式Webサイト(ホームページ)を、5年ぶりにリニューアルしました。新しいトップページは、東洋大学を象徴する鉄紺を基調とし、訪問者別メニューを体系別に整理。大学紹介や各学部・大学院の紹介のほか、イベント情報や新着情報など、タイムリーな情報に迷うことなくアクセスすることができます。また、入試情報サイトもリニューアルし、「大学案内」や「インターネット出願」など、必要な情報・機能をすべてWebに集めました。PCやタブレット端末、スマートフォンなどのあらゆるデバイスに対応し、好きな時に、あらゆる場所、あらゆる端末で学びの最新情報や入試情報、出願から入学手続まで全てをWebサイトで確認できます。

東洋大学公式WEBサイト

<http://www.toyo.ac.jp/>

東洋大学入試情報サイト

<http://www.toyo.ac.jp/nyushi/>



【125周年記念館】の竣工

白山キャンパス125周年記念館は、地下1階・地上8階建てで、大きな開口部から外光が差し込むエントランス空間は、透明感のあるアトリウムとなっており、外に開かれた大学を象徴しています。このデザインは、創立者 井上円了が建設した哲学堂公園にある「哲理門」に通じるイメージを持っています。中2階を含めた10フロアは、学生・卒業生・一般の方々・教職員の利用目的、利用時間、動線を予測し、機能的な配置を実現しています。また、仕立て松をメインとした大きな前庭を備え、地域や自然との調和はもとより、エコポイドによる自然換気の促進やトップライトによる自然採光など、自然エネルギーの活用、環境との調和も図られています。白山の地に根ざした東洋大学はグローバルな視点で教育・研究の国際化を推進するとともに、大学の機能を広く社会に開放し、地域社会と連携する中で社会的役割を果たしていきます。



[現在の東洋大学を表すキーナンバー]

数字で見る東洋大学

126年の歴史を持つ東洋大学。
数字を視点として見れば、きっと新しい発見が生まれてきます。

Toyo University
which
sees numerically

3つの柱
■教育の柱：
3つの柱とは教育目標として掲げる「グローバル人材の育成」のための基盤となる、「哲学教育」、「国際化」そして「キャリア教育」を表します。

126年

■歴史：
井上円了が、東洋大学の源流となる私学哲学館を、当時の本郷区龍岡町（現在の文京区湯島）に創立してから今年（2013年）で126周年を迎えました。私立東洋大学と改称したのは1906年（明治39年）のことでした。

4つのキャンパス
■キャンパス：

1887年から文京区に校舎を構える東洋大学。現在は都市型キャンパスとして近代的な校舎に生まれ変わった「白山キャンパス」をはじめ、1961年の理系学部開設に伴い誕生した「川越キャンパス」、1977年に開設した「朝霞キャンパス」、そして1997年に開設した「板倉キャンパス」があります。また、大学院経済学研究科公民連携専攻のキャンパスとして「大手町サテライト」を2006年に、スポーツ健康分野の各授業や部活動の練習場として使用される「総合スポーツセンター」を2011年に開設しました。

71,273名
(2013年度一般入試)

■志願者数：
2013年度一般入試の志願者数は、71,273名にのびりました（1部・2部合計）。これは国内に約600弱ある私立大の中で10本の指に入ります。

10研究科
29専攻と法科大学院
■大学院：
東洋大学の大学院は、10研究科29専攻と法科大学院から成り立っています。多岐にわたる専門分野において教育と研究活動を行い、実績を上げているほか、国際的な分野でも活躍する人材を育成し続けています。

284,497名
(2013年5月現在)

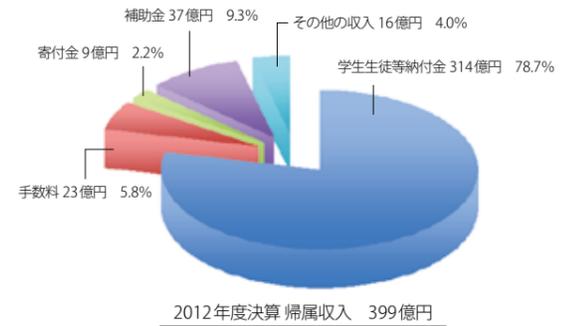
■卒業生数：
これまで東洋大学を卒業した学生は、実に28万人にもなります。井上円了の教えである「諸学の基礎は哲学にあり」を胸に、それぞれ社会の第一線で活躍。日本経済をリードする企業など、各界に多くの人材を輩出しています。

11学部
11444学科
■学部学科数：
新制大学に移行した昭和24年に文学部を設置し、翌昭和25年には経済学部を設置。昭和31年に法学部、昭和34年に社会学部を新たに設置しました。さらに、川越キャンパスを開設し、工学部を設置したのは昭和36年でした。それから現在に至るまで時代のニーズに応えながら、東洋大学は総合大学として進化を続けてきました。現在では、個性豊かなキャンパスに11学部44学科を擁するまでに成長しています。

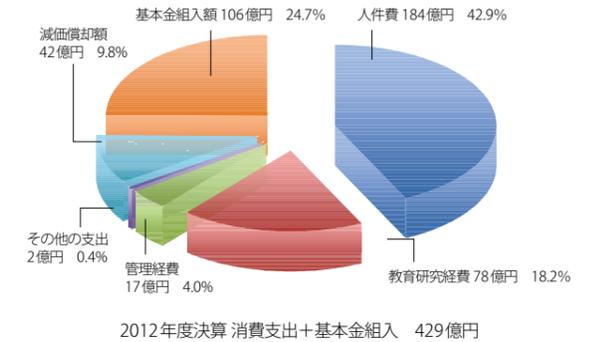
■女子学生比率：
東洋大学在学生のうち、5人に2人が女子学生です。文学部、社会学部、国際地域学部、ライフデザイン学部では男子学生を大きく上回る比率を女子学生が占めます。

【財務状況】

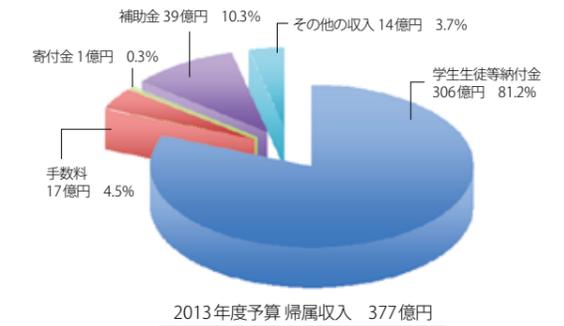
■2012年度決算 帰属収入の状況



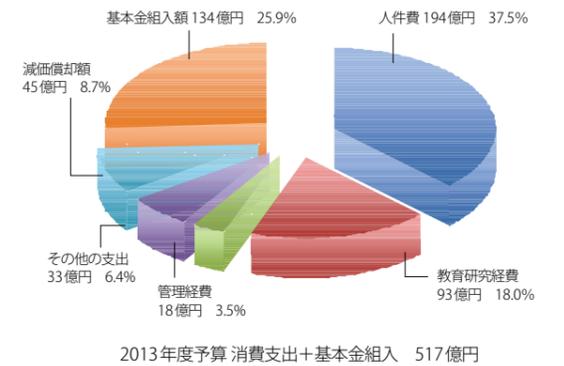
■2012年度決算 消費支出+基本金組入の状況



■2013年度予算 帰属収入の状況



■2013年度予算 消費支出+基本金組入の状況



(2013年3月卒業生実績)

96.5%

■ 就職率：

2013年3月卒業生の就職率が96.5%にのぼるなど、安定的な実績をあげています。企業規模別の内訳は、大企業への就職者は38.7%、中小企業が22.5%、小企業・その他が33.3%、公務員が5.6%となっています。

【企業規模定義】

大企業：一部・二部・地方・ジャスダック・マザーズ上場企業および資本金1億円以上かつ従業員500名以上の未上場企業
中企業：従業員100名以上の未上場企業
小企業・その他：従業員100名未満、その他詳細不明の未上場企業

派遣事業 **90**カ所へ **90**名
高校 **185**校へ **217**名

■ 講師派遣数：

創立者 井上円了の教育理念でもある「社会教育・生涯学習」の考え方を継承し、大学の持つ「知」を社会へ還元することを目的として講師派遣を行っています。11学部44学科、大学院10研究科、さらに法科大学院を擁する東洋大学は、多彩なテーマを用意し、幅広い専門性を持って、社会教育・生涯学習に貢献しています。

■ 協定校の数：**22**カ国 **64**大学

2013年5月1日現在、東洋大学は世界22カ国の64大学と協定を結んでおり、さらに、世界的な大学連合組織であるISEPにも加盟しています。約1～2ヵ月間の「語学セミナー」や1年間の「交換留学制度」をはじめとする教育・研究分野で活発な国際交流が行われています。

2,831カ所で

■ 井上円了の全国巡講：

東洋大学の創立者である哲学者 井上円了は、27年間で、全国60市、2,198町村において5,291回の講演を行いました。受講生はのべ130万人以上であったと記録されています。

5,000以上の企業から
12,000件

■ 求人数：

東洋大学には例年5,000以上の企業から約12,000件の求人があります。また、学内会社説明会には、全キャンパスのべ数で1,000を越える企業が参加されており、安定的な就職実績の背景となっています。

■ クラブ・サークル数：

東洋大学には公認のものが488、非公認のものを加えると800を超えるクラブ・サークルがあります。箱根駅伝での活躍が知られる陸上競技部(長距離部門)もそのひとつです。各キャンパスにはクラブ・サークル活動の拠点となる施設が充実しており、スポーツ・文化・芸術・学芸などの活動に思う存分打ち込むことができます。

488

5,291回

のべ **1,306,895**人

9,371名

■ 奨学金受給者数：

受給者をもっとも多い「日本学生支援機構奨学金」奨学生は、9,371名(2012年度実績)を数えます。また、学業成績・人柄を重視しながら経済サポートを行う、東洋大学が独自に開設している給付型の「東洋大学第1種奨学金(学業成績優秀者奨学金)」「東洋大学第2種奨学金(経済的修学困難者奨学金)」「東洋大学第3種奨学金(家計急変者奨学金)」も設置され、出願制である第2種奨学金の受給者は445名(2012年度実績)を数えます。

815名

■ イブニングコース定員：

より多くの人たちに学びの機会を提供するために、夕方から授業をスタートするのがイブニングコースです。仕事を続けながら学びたい、時間を有効に使って目標を達成したい、そんな想いを実現します。イブニングコースは、文・経済・経営・法・社会・国際地域の6学部9学科に置かれ、その定員数は日本最大の815人を数えます。

667名

(2013年4月1日現在)

■ 教員数：

各分野に精通した教育のプロフェッショナルが、社会にとって有為な人材を、情熱を持って育成します。また、職員数も370名と充実しており、大規模な総合大学であっても、しっかりとフォローできる教職員数を確保しています。

格付 **AA**

■ 外部評価：

東洋大学は、平成25年1月16日に、株式会社日本格付研究所(JCR)より、5年間連続で長期発行体格付の「AA」(ダブルAフラット)の格付を取得し、また格付の見直しは、「安定的」とされました。「AA」は、20段階ある格付の上から3番目であり、債務履行の確実性が非常に高いとされているものです。「AA」の評価は、学校法人の信用力、健全な財務体質及び大学の教育・研究・社会貢献への取り組みが評価されたものと、考えております。今後とも、良質な教育の提供、先進的かつ高度な研究の推進、知的成果の社会への還元を通じて、大学の社会的責任を果たして行きます。

学生数

30,770名

(大学・大学院/通信課程のみ) 2012年5月1日現在

■ 学部(第1部)

文学部	男:1,542名/女:2,215名	計:3,757名
経済学部	男:2,148名/女:701名	計:2,849名
経営学部	男:2,156名/女:1,199名	計:3,355名
法学部	男:1,765名/女:668名	計:2,433名
社会学部	男:1,064名/女:1,638名	計:2,702名
*工学部	男:366名/女:11名	計:377名
*理工学部	男:2,850名/女:379名	計:3,229名
国際地域学部	男:596名/女:1,211名	計:1,807名
生命科学部	男:894名/女:526名	計:1,420名
ライプデザイン学部	男:918名/女:1,387名	計:2,305名
総合情報学部	男:878名/女:371名	計:1,249名

*2009年4月、工学部を理工学部へ再編

■ 学部(イブニングコース)

文学部	男:379名/女:274名	計:653名
経済学部	男:545名/女:97名	計:642名
経営学部	男:366名/女:113名	計:479名
法学部	男:420名/女:85名	計:505名
社会学部	男:473名/女:240名	計:713名
国際地域学部	男:179名/女:119名	計:298名

■ 大学院

文学研究科	男:68名/女:61名	計:129名
社会学研究科	男:31名/女:21名	計:52名
法学研究科	男:37名/女:18名	計:55名
経営学研究科	男:64名/女:36名	計:100名
工学研究科	男:145名/女:16名	計:161名
経済学研究科	男:54名/女:17名	計:71名
国際地域学研究科	男:24名/女:31名	計:55名
生命科学研究科	男:38名/女:17名	計:55名
福祉社会デザイン研究科	男:74名/女:79名	計:153名
学際・融合科学研究科	男:28名/女:5名	計:33名

■ 専門職大学院

法務研究科	男:27名/女:10名	計:37名
-------	-------------	-------

■ 通信教育課程

文学部	男:221名/女:575名	計:796名
法学部	男:208名/女:92名	計:300名

■ 高等学校

姫路高等学校	男:988名/女:222名	計:1,210名
牛久高等学校	男:910名/女:722名	計:1,632名
京北高等学校	男:357名/女:—名	計:357名
京北学園白山高等学校	男:341名/女:—名	計:341名

■ 中学校

京北中学校	男:108名/女:—名	計:108名
-------	-------------	--------

■ 幼稚園

京北幼稚園	男:53名/女:53名	計:106名
-------	-------------	--------

125周年記念事業を中心に、 学内環境整備と社会貢献に注力

グローバル・キャリア 教育センターの設置

東洋大学のキャリア教育の中核を担う存在として、2012年4月にグローバル・キャリア教育センター（GCC）を設置しました。これからの時代を主体的に生きる「自立的な社会人」を養成するため、建学の精神を礎に、学生各自のキャリアを構築できるよう支援を行っています。国内外でのインターンシップや留学、語学教育を通じてグローバル社会で活躍する人材を育成します。

◆GCC主催プログラム(2012年度実績)

- ・ホスピタリティ・ビジネス概論
- ・グローバル人材養成講座
- ・ANAゼミ
- ・グローバル人材概論
- ・留学生就活支援
(日本語能力テスト・ビジネス日本語講座)

通信教育課程 3つの改革

◆定額制授業料

スクーリング受講費用や単位認定試験受験費用などを授業料に包括した「定額制授業料」がスタートしました。このような定額制授業料の導入は国内でもまれな取り組みで、社会人学生の手続きの簡便さ、ひいては学習継続率の向上も期待できます。

◆新カリキュラム

2012年度1年次入学生より、通学課程と互換性を高めた新しいカリキュラムがスタートしました。これにより、第1部やイブニングコース（第2部）の学生とも相互に授業参加できるようになり、社会人学生のニーズに合わせた学習環境が整いました。

◆メディア授業

2012年度より導入のメディア授業とは、授業動画が格納されている「microSDカード」を一定期間（25日間）貸出し、ワンセグ携帯電話やワンセグTVなどの機器で授業動画を視聴するものです。

文部科学省「グローバル人材育成 推進事業タイプB(特色型)」に採択

本学国際地域学部の取り組みが文部科学省「グローバル人材育成推進事業タイプB(特色型)」に採択され、2012年から2016年度までの5年間にわたりグローバル人材育成推進事業に係る補助金を受けることになりました。「グローバル人材育成推進事業」は、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化を基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し、活躍できる人材の育成を図るべく、大学教育のグローバル化を目的とした体制整備を推進する事業に対して、重点的に財政支援することを目的としたものです。「タイプB(特色型)」には、全国の国公立大学から111件(私立大54件)の申請があり、うち31件(私立大15件)が採択されました。



FD(ファカルティー・ディベロップメント)への取り組み

FD(ファカルティー・ディベロップメント)とは、「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」と定義されますが、本学では単に授業内容・方法にとどまらず広く教育の改善ととらえ、積極的に取り組み、教育の質の向上を図っています。以下に代表的な取り組みを紹介します。

◆新任教員FD研修会

新任教員を対象にしたFD研修会を、着任後2ヵ月を経過した2012年6月に開催しました。新たにミニシンポジウムをプログラムに取り入れ活発な議論を行いました。

東北応援プロジェクト(TOP)

2011年度に引き続き、2012年度も東北応援プロジェクト(TOP)として、岩手遠野市、宮城県気仙沼市に学生ボランティアを派遣しました。東日本大震災は未曾有のものとなり、現在も多くの人手による復興支援が必要とされています。これらに関わる学生のボランティア活動に対して積極的に支援し、当該学生の履修科目について不利益が生じないよう、配慮を行いました。



◆東北応援プロジェクト(TOP)

- 遠野 8/19～9/10 参加者約60名
- 気仙沼 8/7～9/20 参加者約100名
- 遠野 2/14～3/22 参加者約100名
- 気仙沼 2/11～3/24 参加者約100名

◆関東圏FD学生フォーラム

2012年9月、白山キャンパスにて「2012年度関東圏FD学生フォーラム」を開催しました。関東圏FD学生連絡会は東洋大学・法政大学・青山学院大学・立教大学の学生FDスタッフと教職員で構成され、「受けたくなる、よい授業とは？」という全体テーマのもと、フォーラムを開催しました。

◆一般教員FD研修会

2012年10月、教職員を対象に一般教員FD研修会を開催しました。鈴木典比古氏(公益財団法人大学基準協会専務理事)を講師に迎え、講演を実施いたしました。

125周年事業

「大学の使命と役割」について国内主要大学の学長と討議し、その成果を広く社会に発信した大学学長会議のほか、東洋大学名誉博士ドナルド・キーン博士による講演会、各種国際シンポジウムや、普段は閲覧することができない貴重書・展示物を紹介した「東洋大学図書館特別展示」など、創立125周年に相応しいバラエティ豊かな分野とテーマのイベントやセミナー、シンポジウムを開催しました。

また、学生が企画・運営したイベント「Autumnフェス」では、隣同士手首を握りしめた形をキーブレイクし、その人数の多さを競う「クラスピングリスト・チェーン」でギネス世界記録に挑戦しました。会場に集まった本学学生と板倉町長をはじめとする近隣住民の方々による1,026名の繋がりがギネス世界記録に認定されました。

【主なイベント行事】創立125周年記念セミナー・シンポジウム

2012年	5月26日	東洋大学名誉博士ドナルド・キーン博士講演会
	8月1日	第7回国際PPPフォーラム
	9月15日	第7回国際PPPフォーラム
	9月15日・16日	国際哲学研究センター主催 国際シンポジウム
	10月20日	『グリム童話』刊行200年記念国際シンポジウム
	11月17日	バイオ・ナノエレクトロニクス研究/国際シンポジウム
	12月7日、8日	バイオ・ナノエレクトロニクス研究/国際シンポジウム

講演会

2012年	6月～9月	東洋大学講師派遣事業「全国行脚講演会」(東京・名古屋・福岡・仙台)
	10月	東洋大学文化講演会(牛久・姫路・東京都北区)

大学学長会議

2012年	12月15日	「今日の大学教育とグローバル人材の育成を考える」
-------	--------	--------------------------

展示会

2012年	5月1日～4日	「東洋大学のあゆみ“伝統を未来に125”」東洋大学図書館特別展示
	5月30日～6月5日	「存在の謎に挑む 哲学者井上円了」
	11月23日	東洋大学図書館特別展示「美と創造の万華鏡」
	10月15日～12月15日	東洋大学井上円了記念博物館特別展

協定校招聘行事(協定校代表者(18大学11ヵ国36名が参加)を招聘)

2012年	11月21日	歓迎レセプション
2013年	1月22日～24日	川越キャンパス訪問～式典～懇親会
		ウィリアム・ハトラー・エイツ展
2012年	10月15日～11月30日	展示会
	11月10日	東洋大学名誉博士ドナルド・キーン博士講演会/シンポジウム
	11月17日	能楽鑑賞会

創立125周年記念「Autumnフェス」

2012年	10月14日	Autumnフェス—ギネス世界記録に挑戦!
-------	--------	-----------------------

井上円了哲学塾

自ら哲学的に考える力を身につけ、しかも国際的な視野に立つて現代社会の深層を掘り下げて理解をし、未来を切り拓く創造性に溢れたニューリーダーを育て上げ、社会に送り出すことを使命として設立された「東洋大学井上円了哲学塾」を開校します。

現代の国際社会の先端の状況をふまえて、自然・社会・文化等のさまざまな分野を学び、「人間として生きること」への考察を深めていく。そしてその成果を現実社会に生かす手段をも学びとった塾生たちが、職場、地域、ないし国際社会に貢献する魅力あるリーダーとなることこそが本塾の目的です。

講師には、各界でも著名なおピニオンリーダーの方々を予定しています。講義は総合科目として学生が受講できるとともに、公開講座で一般の方にも開放し、塾生になると、講義後に別途ディスカッション等でさらに理解を深めることが出来ます。



教育環境の整備

白山キャンパスでは、情報環境の学生サービス向上と白山第2キャンパスからの移転に伴う学生数増に対応するため、125周年記念館竣工とともに既存校舎改修(図書館拡張、3・5号館事務室を教室へ改修)を行い、あわせて、情報関連設備の充実を図りました。

川越キャンパスに、バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターβ棟および運動部の合宿所を建設。バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターβ棟(BNCβ)は既存の建物に加え、国際的な先端教育・研究の拠点となります。加えて、板倉キャンパスにサッカー部女子部合宿所を建設しました。この完成に伴い、2013年4月からは本学体育会サッカー部女子部の活動が本格的にスタートし、板倉キャンパスサッカーグラウンドでも多くの公式戦が開催される予定です。

新たな時代の幕開けに対応した 教育環境の整備と充実

「独立自活」支援推薦入試

「余資なき優暇なき者のために」と学びの門戸を開いた創立者 井上円了の志を受け継いで、意欲のある人が一人でも多く学ぶことができるよう、東洋大学では学費をおさえたいイブニングコースを設置しています。

2014年度入試より新しくスタートする「独立自活*支援推薦入試」は、イブニングコースを第一志望とする受験生で、在学中に白山キャンパス内の大学事務局などで働きながら学ぶことを前提とした入試です。朝は白山キャンパスへ出勤し、日中は大学内の事務局などで働き、夕方からはそれぞれの目標に向かって学びます(18:10～21:20の2限)。

入学検定料を免除する他、学費の半額相当の奨学金(年額265,000円)を、授業料減免措置として4年間支給します。希望者には提携学生寮(月額60,000円程度/1日2食付)への入居も可能です。

*独立自活とは、他に頼らず自立立つことを意味する東洋大学の建学の精神のひとつです

エコキャンパス

学校法人東洋大学は、教育・研究機関としての活動のすべての分野において、地球環境問題を含む各種の環境問題に配慮した対応を推進します。

◆東洋大学エコポイント制度

東洋大学の構成員である学生、教職員の一人ひとりが、大学の環境憲章を実践して行くために、学内エコポイント制度を運用しています。制度の対象となる実践活動に参加(登録制)すると、エコポイントが付与されます。



GPA導入

GPA(Grade Point Average)とは、授業科目ごとの成績に対して、4.0～0.0のグレード・ポイントを付与し、1単位あたりの平均を算出したもので、学生の学習到達度をはかる指標として、国内外の大学で広く使われています。

2013年度入学生から成績表に近直累積の値が記載され、海外留学の際の学力指標や、学内奨学金の採用基準となる他、成績優秀者の表彰や、学習指導に利用されます。

施設設備整備

施設の有効活用と、将来を見据えた教育・研究施設の充実を、さらに進めます。

白山第2キャンパス移転後の校地では、総合学園計画に基づき、平成27年度に本移転を行う京北中学校・高等学校の校舎建設に伴う再開発工事を、朝霞キャンパスでは、新体育館の建設を行いキャンパス再整備を実施。川越キャンパスでは、

学生アメニティの充実と建物耐震構造を強固にすべく、学生部室を川越コミュニティセンター(仮称)として新たに建設、またHグラウンドを人工芝の多目的グラウンドとして整備します。附属姫路高等学校と附属牛久高等学校では、創立50周年の記念事業として、開設時に竣工した本校舎の建て替えを行っています。



白山キャンパス



川越キャンパス合宿所

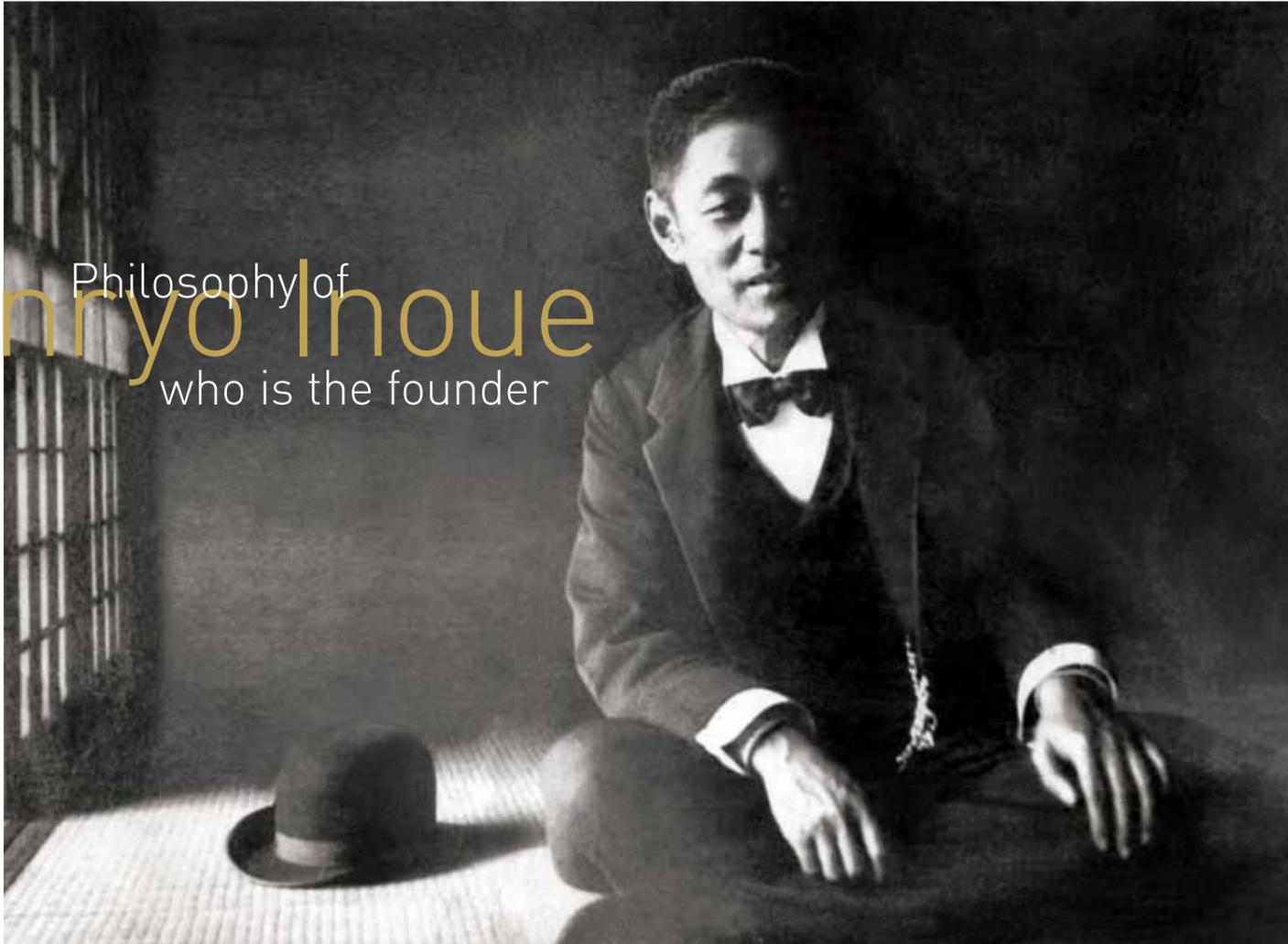
◆事業計画

- ①白山第2キャンパス再開発工事
- ②キャンパス整備に伴う土地の取得
- ③朝霞キャンパス新体育館建設
- ④川越キャンパス合宿所整備
- ⑤川越キャンパスコミュニティセンター(仮称)建設(学生部室棟の新築)
- ⑥川越キャンパスHグラウンド整備
- ⑦附属姫路高等学校本校舎建設
- ⑧附属牛久高等学校本校舎建設

◆施設設備の充実整備

- ①白山キャンパス2号館研究室空調機(WTA)整備、キャンパスプラザ外灯改修など
- ②朝霞キャンパス講義棟1階旧自然科学実験室改修工事、図書館棟空調機の更新など
- ③川越キャンパス都市環境実験棟空調機設置(ボイラー廃止)、陸上競技場整備工事など
- ④板倉キャンパス動物飼育施設環境整備など

Philosophy of Enryo Inoue who is the founder



[近代化が進み始めた時代に考えた日本の未来]

創立者“井上円了”の理念

東洋大学は1887(明治20)年、哲学者 井上円了が創設した「私立哲学館」により、その歴史が始まりました。時代が江戸から明治へと移り、近代化が進み始めた日本において、円了は「哲学は新しい時代を生きる日本人にとって思考の根本になる」と考え、「哲学すること」の重要性を示しました。それは、いわゆる哲学者を養成することではなく、哲学を学ぶことにより「ものの見方や考え方の基礎」を身につけることの重要性を説くものでした。そして、「哲学はあらゆる事物の原理を定める学問であり、政治や法律はもとより、科学や芸

術にも、その根底に哲学がなくてはならない」と述べています。この理念は、円了からの“今”につながる大切なメッセージでもあるのです。

また、「余資なく優暇なき者のために」と考えた円了は、哲学館の授業料を低く抑えることでひとりでも多くの人に門戸を開こうとしたほか、講義をまとめた「哲学館講義録」を館外員に送るといふ、現在でいう「通信教育」もいち早く取り入れました。そして、その想いは現在の「イブニングコース」や「通信教育課程」へと受け継がれています。

創立者／井上円了 1858～1919

安政5(1858)年、長岡藩(新潟県長岡市)のお寺の長男として誕生。明治14年、設立間もない東京大学文学部哲学科にただひとりの1年生として入学。その後、「私立哲学館」の名を掲げた哲学を専修する学校を創設しました。通学できない者にも勉学の機会を与えようと、生涯続けることになる全国を巡る講演を27年間にわたり行い、社会教育にも力を注ぎ込みました。その講演は全国60市、2198町村にもおよび、計5291回を数えるものでした。さらに円了は、「東洋の日本」から「世界の日本」を志ざし、明治時代に3度も世界を回る海外視察に旅立ちます。ここには、明治の日本に新しい教育の扉を開こうとした円了の情熱がうかがわれます。

沿革 History

1887(明治20)年	9月	井上円了が私立哲学館を創立 本郷区龍岡町(現在の東京都文京区湯島)の麟祥院で授業開始
1897(明治30)年	7月	原町(現在の文京区白山)に移転(現在の白山キャンパス)
1898(明治31)年	3月	井上円了が「尋常中学校設立旨趣」を発表
1906(明治39)年	6月	私立東洋大学と改称
1920(大正9)年	5月	「私立」の冠称が廃止され、私立東洋大学を「東洋大学」へ改称
1949(昭和24)年	4月	新制大学に移行、文学部を設置
1950(昭和25)年	4月	経済学部を設置 短期大学部を設置
1952(昭和27)年	4月	大学院を設置
1956(昭和31)年	4月	法学部を設置
1959(昭和34)年	4月	社会学部を設置
1961(昭和36)年	4月	川越キャンパス(埼玉県)を開設し、工学部を設置
1963(昭和38)年	4月	附属姫路高等学校(兵庫県)開設
1964(昭和39)年	4月	附属牛久高等学校(茨城県)開設 通信教育部を設置
1966(昭和41)年	4月	経営学部を設置
1967(昭和42)年	11月	創立80周年記念式典を挙げる
1977(昭和52)年	4月	朝霞キャンパス(埼玉県)開設
1987(昭和62)年	10月	創立100周年記念式典を挙げる
1997(平成9)年	4月	板倉キャンパス(群馬県)を開設し、国際地域学部、生命科学部を設置
2002(平成14)年	4月	短期大学を廃止
2004(平成16)年	4月	専門職大学院法務研究科法務専攻(法科大学院)開設
2005(平成17)年	4月	朝霞キャンパス(文・経済・経営・法・社会学部) 1・2年次を白山キャンパスに統合、一貫教育開始 朝霞キャンパスにライフデザイン学部を設置
2006(平成18)年	4月	白山第2キャンパスを開設し、法科大学院が移転 大学院経済学研究科公民連携専攻設置に伴い大手町サテライトを開設
2007(平成19)年	4月	大学院学際・融合科学研究科を設置
2008(平成20)年	4月	井上円了生誕150周年 文学部第1部教育学科に人間発達専攻、初等教育専攻を設置
2009(平成21)年	4月	工学部を再編し、理工学部を設置 川越キャンパスに総合情報学部を設置 生命科学部に応用生物科学科、食環境科学科を設置 ライフデザイン学部生活支援学科に生活支援学専攻、子ども支援学専攻を設置 国際地域学部を白山第2キャンパスに移転 大学院福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻を設置
2010(平成22)年	4月	国際地域学部国際地域学科を2専攻とし、地域総合専攻(イブニングコース)を設置 経営学研究科にマーケティング専攻、ビジネス・会計ファイナンス専攻、ビジネス・会計ファイナンス専攻に中小企業診断士登録養成コースを設置
2011(平成23)年	4月	大学院国際地域学研究所国際観光学専攻に博士後期課程、大学院学際・融合科学研究科バイオ・ナノサイエンス融合専攻に博士前期課程を設置 東洋大学総合スポーツセンター(東京都板橋区)完成 学校法人京北学園と法人合併し、京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校、京北幼稚園を併設校とする
2012(平成24)年	11月	創立125周年記念式典を挙げる
2013(平成25)年	4月	板倉キャンパスに食環境科学部を設置 国際地域学部・法科大学院が白山キャンパスに移転



- 1 文京区湯島の麟祥院。この一室を教場にして私立哲学館は始まった。
- 2 昭和初期の講義の様子。
- 3 哲学館の講義をまとめた『哲学館講義録』や『妖怪学講義』など。
- 4 哲学をテーマとした精神修養の場として、円了が明治37年に開設した哲学堂公園(中野区)。
- 5 大学ゆかりのさまざまな品が展示される井上円了記念博物館。



Message from the Chairman

[理事長メッセージ]

21世紀に貢献するグローバルな東洋大学に

東洋大学は、創立者である井上円了先生の理念を現代に具現化し、現在「哲学教育」と「国際化」、そして「キャリア教育」を「グローバル人財の育成」に向けた3つの柱として基盤に置いています。日本は、アベノミクスで金融、財政、成長戦略を「三本の矢」として再生を期していますが、東洋大学の三つの教育課題は、正に東洋大学成長の「三本の矢」ということとなります。成長戦略が明確であることは東洋大学の強みだと感じています。

しかし、東洋大学の総合的にみたブランド力には、改善の余地が少なくないと感じています。大学のブランドとは、伝統、校風、立地、施設、財務、研究、教育、教員といったものの総合力に他なりません。

東洋大学は、長い歴史と恵まれた立地条件、充実した設備と良好な財務を持ち、さらにスポーツの分野でもめざましい活躍を続けており、各方面から評価を得ていますが、大事なものは教育・研究内容であり、教学の水準であり、そして教員の魅力です。これをさらに高めていくことによって、東洋大学を始めとする学校法人東洋大学設置の諸学校の総合力を更に高めることが

できていると思っています。

大学としては、教育の理念を明確にすると同時に、時代のニーズにも応えなければなりません。

私は、20世紀を「技術と対立」の世紀だと思っています。それまでにない新しい技術が発展しました。航空機、コンピュータ、石油化学や原子力などがそれでした。これらは、人類に経済発展をもたらした軍事技術に転用されることもありました。2度にわたる世界大戦や、東西の冷戦も我々は経験しています。つまり、技術の発展は、対立をもたらす結果にもなったのです。

では、21世紀はどういう時代になるのでしょうか。

私は、グローバル化が進展し、「協調と人間」の世紀になると考えています。東西の冷戦の終焉とともに、グローバル化が叫ばれるようになり、一部の国を除き、世界中が民主主義と市場経済を導入するようになりました。世界秩序の運営に協調が必要になったのです。

産業革命以来、人類が作ってきた経済システムは、「地球上の資源は無限、地球の循環機能は永遠」という前提で、産業を伸ばしてきました。しかし、1972年にロ

学校法人東洋大学理事長

福川 伸次

1955 (昭和30) 年4月通商産業省入省、1986 (昭和61) 年6月通商産業事務次官を経て1990 (平成2) 年6月株式会社神戸製鋼所代表取締役副社長、1994 (平成6) 年6月同副会長に。1994 (平成6) 年11月より株式会社電通顧問、株式会社電通総研代表取締役社長兼研究所長。2003 (平成15) 年3月より学校法人東洋大学理事となり、2012 (平成24) 年12月学校法人東洋大学理事長就任。

ーマクラブが、「成長の限界」という研究報告を発表し、ここで地球規模の大きな課題に直面していることに、誰もが気づかされたのです。

これまでアメリカをはじめとする先進国家は、石油、原子力というエネルギーに依存して経済を拡大してきましたが、それが今、限界にきたのです。

今こそ、新しい産業革命が求められているとはいえないでしょうか。しかも、それを地球的な規模で取り組むというのが、我々に課せられた大きな課題です。

さらにもうひとつ、文明の発展の歴史的な流れが、グローバリゼーションの時代を意識させます。これまで文明は、西転しながら発展してきた歴史を持っています。ギリシャ、ロー

ーマの時代を経て中世キリスト教文明が発展し、イギリスの産業革命が大西洋を越えてアメリカに行き開花しました。そして、20世紀の後半に産業の発展はアジアにやってきて、先ず日本が高度成長に入りました。そして、アジアNIES、ASEANそして中国が成長過程に入っています。世界文明のリード役がちょうど地球を1周したといえます。

したがって、人間の文明も、世界で共通になる基盤が出来たといえるでしょう。そうすると、これまで以上に人類は協調し合い、共通のルールで地球上の活動を続けられるようになるはずで、異なった文化や思想を持ちながらも、共通基盤を持つことによる協調や協力に、人々の価値観が移っていくと思います。

そのときに、人々の関心の中心になるものは、征服や制圧を乗り越えて、「人間の価値をいかに高めるか」というテーマに移ると私は考えています。



東洋大学白山キャンパス
中野区哲学堂公園の哲理門をイメージさせる創立125周年記念館(8号館)は2012年11月に完成。東洋大学は1897年(明治30年)からこの地に校舎を構えている。

人間の価値とは、例えば精神的な充足、倫理の重視、文化の尊重、人類愛などでしょう。そこでは人々の意識のなかに、「人のために尽くす」「世の中のために役に立つ」、そして「世界のために貢献する」という思想が大事になります。21世紀は、「協調と人間」の世紀であり、特に人間価値を大切にすることを考えるのはこうした理由からです。

人間の価値を大事にするという根底には「考える」という要素があるはずで、同時に「新しいものを見つけ出していく」という行為こそが必要なのです。「百聞は一見にしかず」といいますが、同時に私は「百見は一考にしかず」だとも思っています。聞いただけでも、見ただけでも

十分ではない。100回見聞しても、ひとつの考えの前にはかなわない。自分で考えてこそ、それが本当に自分のものになるのです。考えるためには基礎知識が大切です。「知」を高め、「考える」訓練をし、新しいものに作りあげることによって、国際的な視野を持ち、世界を舞台に活躍する真のグローバル人財に成長していくのです。

こうして見つめ直すと、東洋大学の理念が、21世紀という時代に求められていることに、改めて気づかれます。私は東洋大学が教学の面でも、研究の面でも、スポーツの面でも、品格の面でも、トップレベルを目指すべきだと考えています。東洋大学の教育理念を活かしていけば、必ずそれも実現し、21世紀に貢献する総合学園になると確信しています。

学校法人東洋大学理事長

福川 伸次 Shinji Fukukawa

Message

from
the President

[学長メッセージ]

世界から東洋大学に、 そして東洋大学から世界へ

本学は昨年創立125周年を迎え、さまざまなイベントを行うと同時に、「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」という教育改革の基本方針を明確に打ち出しました。今年、これまで培ってきた伝統と歴史に新しいページを記すために、教育面でも、研究面でも、社会貢献面でも、新しい取り組みを加え、国際的評価に応えるより高水準な大学をめざして、さらに進化と努力を続けていきます。

たとえば、今秋からスタートする「井上円了哲学塾」は、そうした新しい取り組みのうちのひとつです。哲学を基盤に、現代においていかに生きるべきかを深く問いながら、さまざまな分野における先輩方の経験や考えを学び、今後の日本や国際社会をより良い方向に導いていけるようなリーダーを育成することが目的です。

「井上円了哲学塾」には学内の学生だけでなく、一般の方も応募することができます。安藤忠雄さんや堺屋太一さん、梅原猛さんなど日本を代表するオピニオンリーダーの方々に講師として予定しています。この講義は総合科目として学生が受講できるとともに、公開講座として一般の方にも開放し、塾生になると、講義後に別途ディスカッション等でさらに理解を深めることが出来ます。これは今後毎年行っていく予定です。

今日まで続く東洋大学の歴史は、井上円了先生が1887(明治20)年に創立した、私立哲学館から始まりました。戦前は文学部のみ的小さな大学でしたが、次第に経済学部や社会学部、法学部などを作り、総合大学として徐々に発展してきました。今年は食環境科学部



1948年、東京都生まれ。東京大学文学部印度哲学・印度文学科卒業。博士(文学)。専門は仏教学・日本仏教。文化庁専門職、筑波大学教授等を経て、2002年から東洋大学教授。文学部長を経て、2009年9月より同大学長に就任。

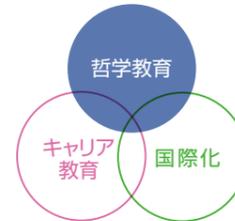
を開設し、全11学部を持つまでに成長を遂げています。多彩な学問分野を揃え、大学に期待される現代社会のニーズに応えることができる体制が整いましたが、さらなる学問分野の充実や再編、そして国際的評価を得られる大学を作り上げてまいります。そのためにも、何よりも「哲学」を基盤にグローバルな視野を持ち、ボーダレスの国際社会を生き抜く基本的な力を、本学の学生が十分に身につけることができるよう、全学をあげて取り組みます。

次の創立150周年の節目には、キャンパスそのものが国際化し、そこで様々な国の人々が学んでいるような風景を見たいと思っています。世界中から多くの学生が東洋大学に学びに訪れ、そして東洋大学から世界へと学生たちが羽ばたく国際色豊かな大学に成長するよう、尽力してまいります。

東洋大学 学長/博士(文学)
竹村 牧男 Makio Takemura

The 3 Concepts of Global Human Resources

[未来を切り拓くための基盤となる、哲学教育・国際化・キャリア教育]
「グローバル人財」を育成する3つの柱



【哲学教育】 Philosophy Education

「自分なりのものの見方・考え方」を育てる哲学教育

井上円了が伝えた哲学とは「自ら深く物事の本質に迫って考えることを実践すること」です。多様化する現代社会では、学問的知識だけでなく、問題の発見能力や解決能力が強く求められます。こうした「人間としての力」を養い、「自分なりの考え方や、もの見方ができるようになる」ことが、哲学教育の真の目的です。

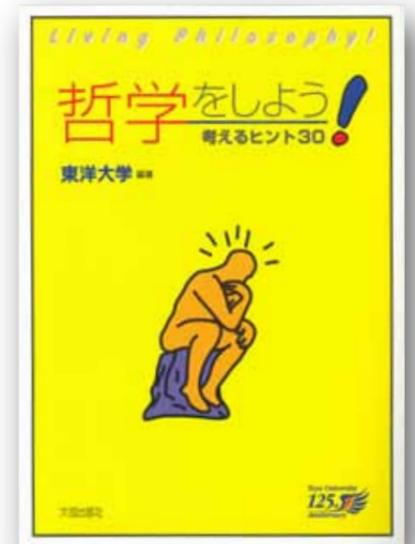
自分で考え、自発的に行動していく。哲学教育は、グローバル化への対応に必要な力を育む基礎になります。

そうした「哲学すること」の教授を建学の理念とする本学では、より実践的な哲学教育を行うための教材として『哲学しよう！-考えるヒント30』を制作・刊行しました。

この書籍には、「哲学と教育」「地域と社会」「環境と生命」など、現代社会のあり方を示唆する30のテーマが収録されています。学長の竹村牧男をはじめとする全学部の教員が各章を分担して執筆し、哲学的思考を実践するためのヒントを提示。2013年度からはこの書籍をテキストとして活用し、哲学する姿勢を磨くための新たな授業が展開されています。

また、2012年度には従来の教養科目を「基盤教育」に名称変更しました。この基盤教育の柱として「哲学・思想」という分野を新設し必修化するなど、より「哲学」に触れやすいカリキュラムが整備されました。

さらに、インターネットを通じて全キャンパスで同時に同じ授業を受講できる遠隔講義システムを導入し、「全学総合科目」を開設。井上円了が迷信を打ち払い、自ら考える姿勢を養う第一歩として用いた「妖怪学」を現代バージョンにした「妖怪学リニューアル」という人気講義を開講するなど、本学ならではの独自の哲学教育プログラムを展開しています。



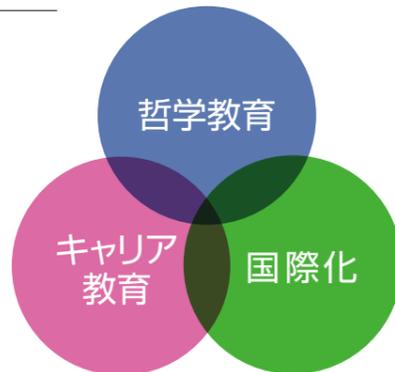
哲学教育を行うための教材
『哲学しよう！-考えるヒント30』を刊行。
政刊懇談会が主催する
「ほんづくり大賞」優秀賞を受賞。
大成出版社(定価2800円)



かつて使用されていた哲学教育の教材。

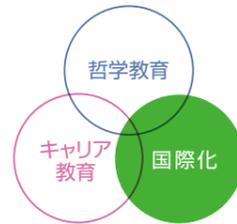
グローバル人財の育成に向けた3つの柱 3 Concepts

東洋大学では、時代の趨勢であるグローバル化に伴い、「グローバル人財(人という財産)の育成」をテーマに、伝統と改革を持って教育に取り組んでいます。キーになる「グローバル人財」という言葉を、本学は「時代や環境の変化に流されることなく、地球規模の視点から物事を捉え、自らの未来を切り拓くことのできる人」と定義しています。語学力を高める教育プログラムや交換留学、海外研修プログラムなどを充実させ、国際社会人としての基礎力を体得する「国際化」と、数値化が難しいパーソナルスキル(創造力や言語力、読解力、判断力、協調性など)を重視した独自の「キャリア教育」、そして建学の理念である「哲学教育」を教育における3つの柱として、「グローバル人財の育成」というテーマのもとに学生の大きな成長を支援してまいります。



The 3 Concepts of Global Human Resources

「グローバル人財」を育成する3つの柱



【国際化】 Globalization

グローバル時代に求められる
国際社会人としての基礎力を養成

国際社会では、自分の意見をしっかりと持ち、発信できることが当然と考えられています。東洋大学では、語学教育プログラムをはじめ、留学ネットワークの拡大や海外インターンシッププログラムを充実させ、国際社会で活躍できる人財育成を目指しています。異なる文化のなかに飛び込み、多様な人々と対話することで、グローバルな視野と世界に向けた行動力が身につきます。

語学教育プログラムでは、英語学習へのモチベーションを向上させるため、学生全員が年1回、TOEIC®を無料で受験できる制度を設置し、語学力強化を図っています。また、米国モンタナ大学の協力による英語特別教育科目「SCAT」(Special Course in Advanced TOEFL®)などを通じて、「生きた英語」の習得や発言力、積極的な態度など、国際社会で必要とされる資質を磨いていきます。また、学内留学制度を発足させたほか、課外講座として、本年度より学内英会話スクールを開講しました。

この他、世界各国の協定校やISEP(交換留学を推進する世界的な大学連合組織)との留学制度も設置。交換留学、海外研修プログラム、語学セミナーなどを行い、国際社会人としての基礎力を養っていきます。近年中に協定校を100校にすることを目指し、現在も留学ネットワークの拡大が進められています。

2012年度からは海外留学を経済面から支援する「東洋大学海外留学促進奨学金制度」がスタート。より多くの学生が海外留学や海外ボランティア、海外インターンシップなどに参加できるよう、支援体制が充実しています。

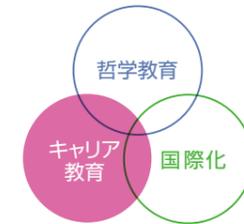
その他、文学部主催の「能楽鑑賞教室」や、三味線演奏を体験できる「新内節演奏会」など、日本の文化や伝統を理解するための各種伝統文化講座も実施しており、国際人としての教養を体得することができます。



創立者 井上円了が明治時代に3度の海外視察に出かけた際、使用した旅行カバン。



語学教育に力を入れ、カリキュラムも充実。海外留学を経済面から支援する「東洋大学海外留学促進奨学金制度」もスタート。



Career Preparation 【キャリア教育】

各種講座や就業体験の充実で
学生のキャリア構築を支援

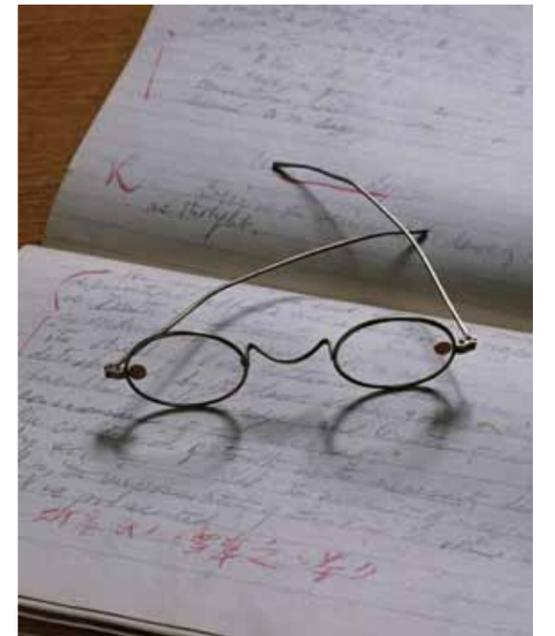
東洋大学のキャリア教育は、独立自活の精神に基づき、学生一人ひとりに多様な学習や体験の場を提供します。それにより、学生が生き方や働き方への思考をより深め、自己探求を行い、自主的かつ主体的に行動する力を育てていきます。また、「知徳兼全」を理想とし、正課内外での社会探究を通して、広い視野を身につけ、自らの「哲学する力」を持つことで、キャリアを切り拓きつつ、地球社会の改革に貢献できる優れたグローバル人財を輩出していきます。

そうした東洋大学のキャリア教育の中核を担う存在として2012年に設置された「グローバル・キャリア教育センター」では、フィロソフィ(哲学)、キャリア(自立心)、グローバル(国際化)の3つの側面から、学生一人ひとりのキャリア構築を支援しています。

同センターでは、全学部を対象とする各種講座を、年間を通じて実施。グローバル企業で活躍するゲストスピーカーを招いての講座やPBL課題解決型講座などで社会や企業・仕事に対する理解を深め、これからの時代に必要となる国際感覚と職業観を養っていきます。また、国内外のインターンシッププログラムもさらに拡充。事前から事後まで総合プログラムにより目的意識の持続やその後の職業観の醸成に活かせるよう配慮しています。

このほか、各学部の基盤教育科目に「社会人基礎科目」を設置することにより、1年次から自らのキャリアを考える環境を整え、さらには「高校から大学へ」「大学から社会へ」という2つの移行期を支援するプログラムやオリエンテーションを実施しています。

学生の将来に向けての目標設定を促し、学生生活を有意義に過ごすことができるようサポートしています。

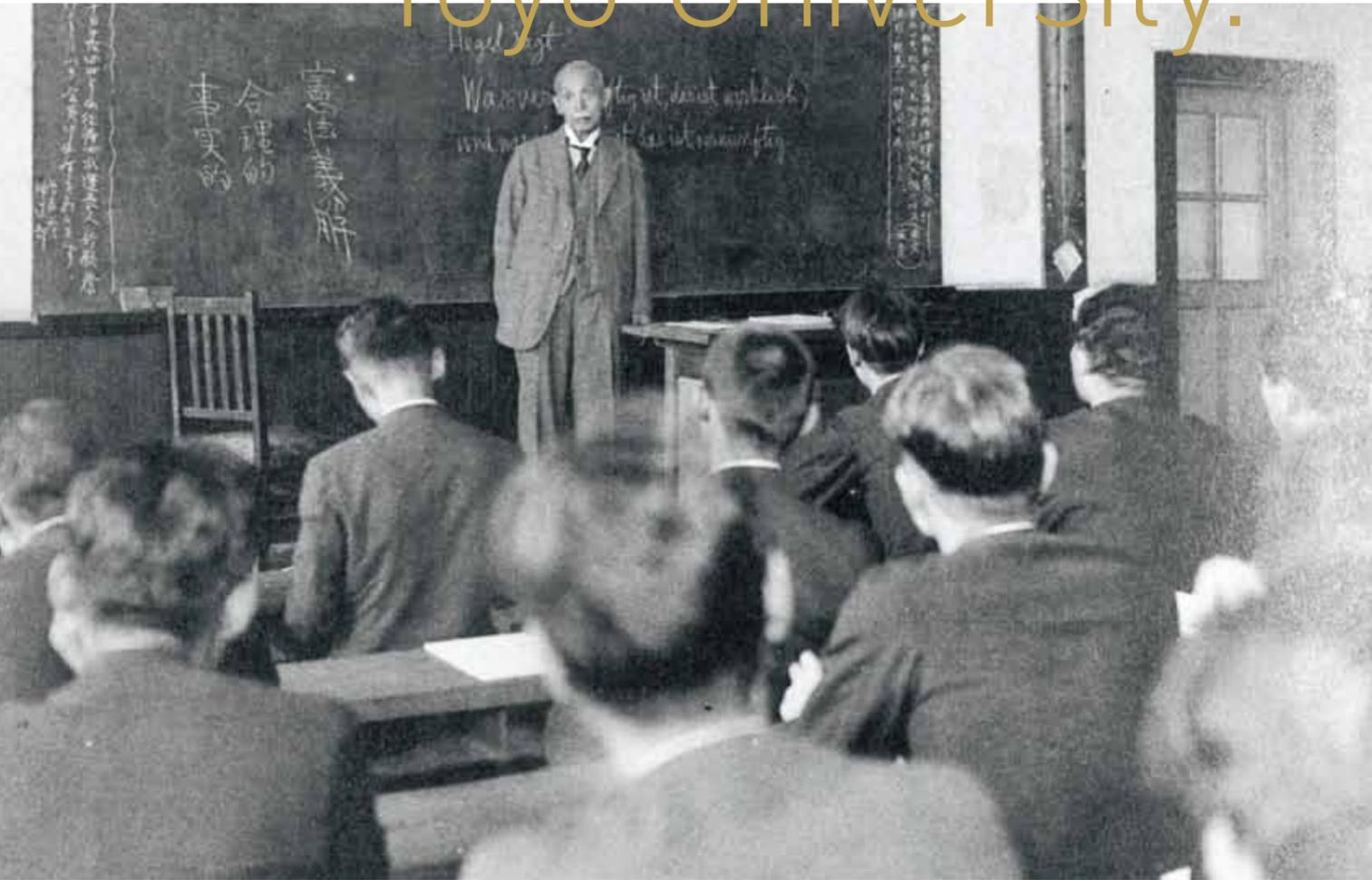


開国間もない明治の世で、自らがグローバル化の筆頭にたった創設者・井上円了直筆のノート。



就職支援も充実。

The third mission of the university.
Social contribution activities of
Toyo University.



■ 教育・生涯学習支援

【公開講座】

どなたでも参加できる開かれた講座

本学では、生涯学習への取り組みとして春期と秋期にエクステンション講座、学術講演会、市民大学講座、文化公演などの公開講座を実施しています。一般の方ももちろん、本学在学学生・卒業生、他大学生など、どなたでも講座に参加することができます。

【総合的な学習の時間支援プログラム】

高等学校「総合的な学習の時間」等の講演会へ専任教員派遣

創立者井上円了の教育理念でもある「社会教育・生涯学習」の考え方を継承し、大学の持つ「知」を社会へ還元することを目的として講師派遣を行っています。11学部44学科、大学院10研究科29専攻、さらに法科大学院を擁する東洋大学は、多様なテーマを用意し、幅広い専門性を持って、社会教育・生涯学習に貢献しています。これには、高等学校の生徒を対象とした「総合的な学習の時間」等の講演会への専任教員派遣も含まれています。派遣先では、本学が持つそれぞれの専門分野を活かした講演を行います。

【生涯学習支援プログラム】

さまざまな講演会をバックアップ

教育委員会、生涯学習・社会教育・社会福祉の各種団体および小中高等学校の教職員・PTA 等で企画する講演会・研修会等へ、本学専任教員を派遣します。これは、社会人の方を対象としたプログラムで、以下のテーマ・分野での講演会を実施しました。なお、本事業では、本学が講師の講演料・交通費・宿泊費を負担しています。



2013年度テーマ・分野（生涯学習支援プログラム）

- 井上円了の生きた時代 ● 環境のためにできること（エネルギー・地球温暖化・リサイクル・ごみ） ● あふれる情報とどうつきあうか（災害・個人情報・メディアリテラシー） ● 健康を考える（運動・食） ● ともに生きる社会をめざして（医療・身体・福祉・障害・共生・人権） ● 学ぶこと・育てること（学校・しつけ・親子） ● 東洋大学は地域を応援します（地域社会・まちづくり） ● 人間関係とコミュニケーション（ことば・コミュニケーション・心理） ● 長寿社会を生きて・人生の爽りの時期を豊かにするために（高齢者・人生論） ● 文学に親しむ（日本文学・外国文学） ● ところを見つめる（こころ・宗教・哲学） ● 暮らしを変えて科学技術（工学・科学・技術・数学） ● 毎日の生活に役立つ経済の話（身近な経済・日本経済・世界経済） ● 法律・行政を身近なものに（法律・行政・観光） ● 人間が歩んできた道（歴史） ● 国際社会と異文化理解（異文化・外国）

■ 地域連携・社会貢献

【東洋大学文化講演会】

地域に根ざしたコミュニケーション活動

東洋大学の附属高校、併設校が所在する兵庫県姫路市、茨城県牛久市、東京都北区において、社会貢献活動の一環として、地域の方々に生涯学習の機会を提供する目的で東洋大学文化講演会を開催しました。これは、特に本学関連校が置かれる地域の方々との相互理解を深めるとともに、地域に根ざしたコミュニケーション活動の一環として行っています。

【北区との協定】

自治体との密接な連携

本法人と北区との間で2011年6月、連携・協働に関する包括協定を締結しました。本協定は、区と大学それぞれが持つ人的・知的・物的資源を活用し、地域社会の発展や住民福祉の向上、人材育成や学術の発展につなげることを目的とします。区内のモデル地区を対象に、本学のまちづくりを専門とする教員・学生が調査・研究を行い、区と大学が相互の資源を活用しながら、高齢者にやさしいまちづくりを推進していこうという「高齢者にやさしいまちづくりに関する実施協定」や「災害時における避難場所開放に関する協定」を締結しています。

【学部の取り組み】

HITSによる地域情報発信／社会学部メディアコミュニケーション学科

「東京都文京区白山およびその周辺」の地域情報を中心として、メディアコミュニケーション学科の学生が企画、取材、編集した映像作品を、インターネット上で公開しています。これは「白山インターネットTVステーション」（愛称：HITS＝ヒッツ）と名づけたプロジェクトで、2006年度よりインターネットで情報発信を開始し、地元のCATV局とも協力しています。白山周辺の景色・眺望、名所・名跡の案内、企業・商店の紹介、学内イベントの取材映像など、すでに200本以上の作品を公開しています。URL <http://pinata.soc.toyo.ac.jp/hits/>

実用・実学の実践的な社会貢献／ライフデザイン学部

ライフデザイン学部では、地域住民の期待に応えるために、地域住民参加型の特色ある学部教育活動を実践しています。人々が健康で豊かな生活をしていくためのプログラムを実践することで、地域住民とプログラムに携わる学生が相互の成果を得ることを目的としています。



地域住民参加型プログラムのテーマ例

- シニア世代の健康と体力づくりを支援する「Keep Active」 ● 相談支援施設でのインターンシップとワークショップを行う「ソーシャルワーカーの基礎としてのアドボカシーセミナー」※（注）○高齢者や障害者のための支援道具のデザイン・制作を行う「デザイン未来塾」 ● 地域の子育てを支援する「子育てサブリ」※（注）アドボカシー（権利擁護）：援助の過程で利用者の利益を図り、生活の質を向上させるため主張や代弁を行い、権利を擁護する活動。

全国的に注目される「鶴ヶ島プロジェクト」の実施／理工学部建築学科

平成24年度、4年生向け授業「総合設計演習」の一環として、鶴ヶ島市の協力を得てインフラ老朽化と財政改革に取り組む「鶴ヶ島プロジェクト」を実施しました。こうしたテーマは全国共通の課題であることから、「朝日新聞」社会面記事やNHK「おはよう日本」全国版など、東洋大学建築学科の試みが全国レベルで取り上げられ、大変注目を集めました。

【その他の取り組み】

原発事故で外遊びが十分にできない子どもと思い切り海辺で遊ぶ東日本大震災子ども支援活動

2012年7月、千葉県・房総半島の前原海岸にある東洋大学の鴨川セミナーハウスで、「サマーレスバイトデイズ」が開催されました。これは東日本大震災による東京電力原子力発電事故の影響で、外遊びが十分にできなかった子どもたちに、砂浜で思う存分3日間にわたり遊んでもらおうというもので、NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーむ・福島」が主催し、「東洋大学東日本大震災復興問題対策チーム」がサポートしたものです。当日は、主に郡山市のひとり親の子ども30人と、その保護者が参加。大学からは、児童福祉を学ぶ社会福祉学科のゼミ生20人と、朝霞キャンパスで保育を学ぶ学生たち10人ほどが加わり、マン・ツー・マンで子どもと接しました。また、社会福祉学科の森田明美教授のゼミ生たちが継続的に運営に協力する軽食付き中高校生の自習室「ソントハウス」も、岩手県山田町に開設しています。

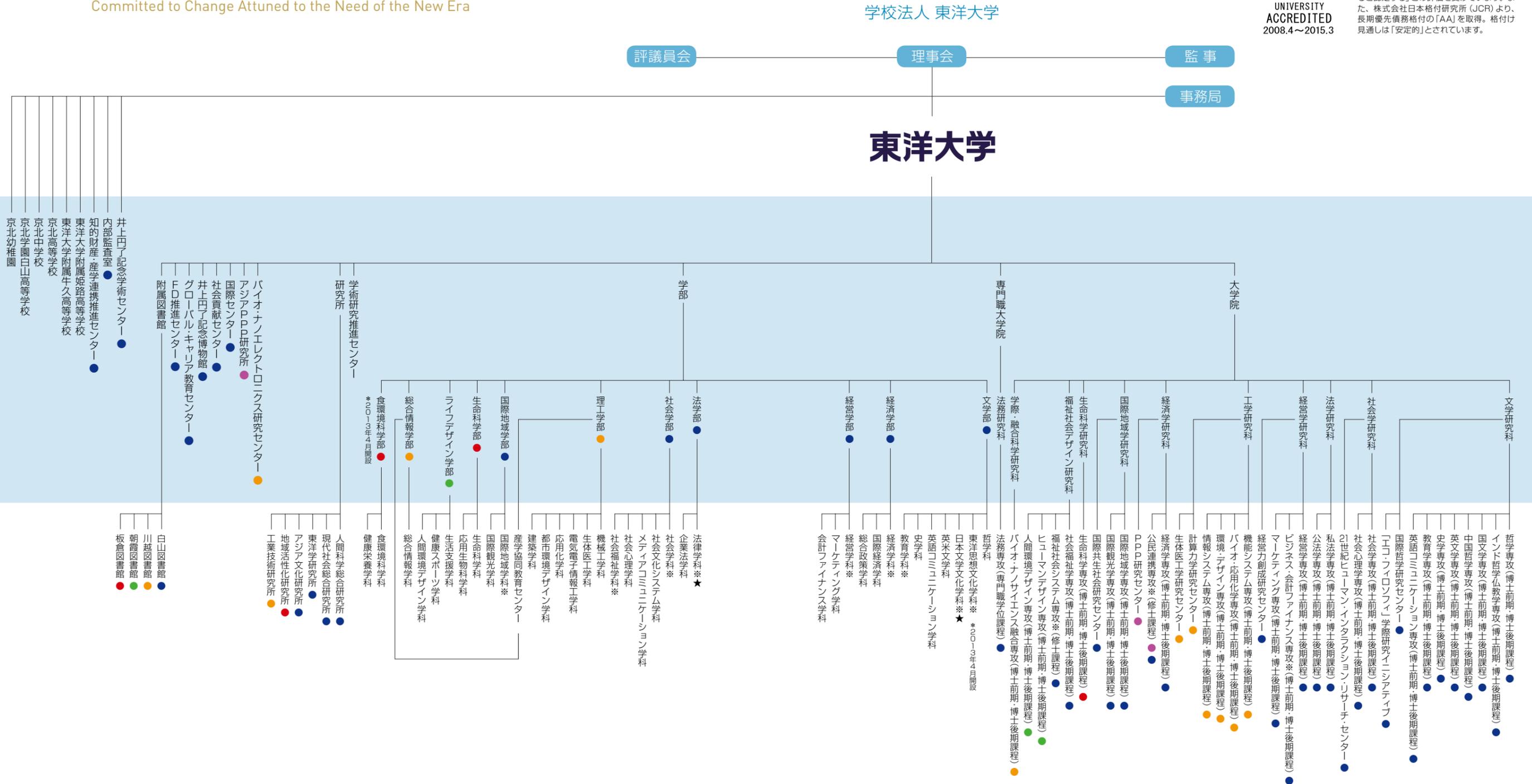


[創立時から培われている大学に期待された第3の使命への取り組み]
「社会貢献」という東洋大学の活動

大学は、教育と研究を本来の使命としていますが、現代では第3の使命として「社会貢献」が強調されるようになってきています。本学では、1887年の創立時から125年の伝統により培われた「社会教育・生涯学習」の精神に基づき、大学が持っている「知」を広く社会に還元するという社会貢献としての活動に、早くからさまざまな形で取り組んできました。「学校法人東洋大学行動規範」において「私たちは、常に地域社会への貢献や連携を考え、開かれた学校づくりを行い、社会貢献を教育機関の重要な役割の一つと考え、教育研究の成果を積極的に社会に還元します」と謳っているとおり、今後も一層の充実を図ってまいります。



当時の本郷区龍岡町の麟祥院で始まった、私立哲学館。
東洋大学は建学の精神のひとつである「社会貢献」をさまざまな形で今もやっている。



● 白山キャンパス



● 板倉キャンパス



● 川越キャンパス



● 朝霞キャンパス



● 大手町サテライト



● 総合スポーツセンター

※印は大学院の場合は主として夜間に授業を行う課程、学部の場合は第2部・イブニングコースを設置していることを示す
★印は通信教育課程を設置していることを示す

進化を続ける11学部44学科

11 Undergraduate Schools with 44 Departments Continuing to Evolve

東洋大学の理念である「諸学の基礎は哲学にあり」を受け継ぎ、多彩な教育プログラムを通じて「ものの見方・考え方」の確立を目指します。

学部・学科

文学部 Literature ● 白山キャンパス

東西の文化や思想を通じて、私たちが心豊かに生きるために必要な幅広い知識と教養を身につけます。自己のあり方を深く考え、新しい文化を創出する力を養います。

- 第1部: 哲学科 / 東洋思想文化学科 / 日本文学文化学科 / 英米文学科 / 英語コミュニケーション学科 / 史学科 / 教育学科(人間発達専攻・初等教育専攻)
- イブニングコース: 東洋思想文化学科 / 日本文学文化学科 / 教育学科



経済学部 Economics ● 白山キャンパス

刻々と変化する世相を見つめ、経済の原理や制度、歴史、政策を学びます。国際社会で求められる実践力を培い、新しい社会や経済のあり方を構築していく人を育てます。

- 第1部: 経済学科 / 国際経済学科 / 総合政策学科
- イブニングコース: 経済学科



経営学部 Business Administration ● 白山キャンパス

「理論と体験のプロセス学習」「実践的演習」を通じ、企業を多角的に探究します。理論的かつ戦略的思考を備えた社会人を身につけ、ビジネスの現場で活躍できる人材を育成します。

- 第1部: 経営学科 / マーケティング学科 / 会計ファイナンス学科
- イブニングコース: 経営学科



法学部 Law ● 白山キャンパス

グローバル化が進み、価値観が多様化した現代社会では、法的な課題・紛争を解決する能力が求められます。幅広い分野で活躍できる柔軟な思考力を養います。

- 第1部: 法律学科 / 企業法学科
- イブニングコース: 法律学科



社会学部 Sociology ● 白山キャンパス

社会で起こっている事象、社会の構造とそこに潜む課題について、「理論」と「実証」にもとづいたさまざまな角度からアプローチし、考え、読み解きます。

- 第1部: 社会学科 / 社会文化システム学科 / 社会福祉学科 / メディアコミュニケーション学科 / 社会心理学科
- イブニングコース: 社会学科 / 社会福祉学科



国際地域学部 Regional Development Studies ● 白山キャンパス

「Think globally, Act locally」を理念とし、地球規模の視点で問題を捉え、国際的視野に立って社会に貢献する人材を育成します。

- 第1部: 国際地域学科(国際地域専攻) / 国際観光学科
- イブニングコース: 国際地域学科(地域総合専攻)



学部・学科

ライフデザイン学部 Human Life Design ● 朝霞キャンパス

生活の質(QOL = Quality Of Life)という考え方にに基づき、超高齢化社会において、子どもから高齢者に至る多様な生活場面の中で起因する人びとの諸問題(心身の健康、障害、生活環境など)に対応する政策や技術のあり方を、実用・実学の視点で実践的に学びます。

- 生活支援学科(生活支援学専攻 / 子ども支援学専攻) / 健康スポーツ学科 / 人間環境デザイン学科



生命科学部 Life Sciences ● 板倉キャンパス

生命現象を明らかにする最先端学術分野である「生命科学」を用いて、生命の総合的理解の上に立ち、地球社会の発展に貢献できる人材を育成します。

- 生命科学科 / 応用生物科学科



食環境科学部 Food Life Sciences ● 板倉キャンパス

現在の社会が直面している食糧問題、健康問題などを解決する、生命と健康、食の安全・安心に係わる分野で活躍できるグローバル人材を育成します。

- 食環境科学科(フードサイエンス専攻 / スポーツ・食品機能専攻) / 健康栄養学科



理工学部 Science and Engineering ● 川越キャンパス

宇宙・地球・生命など自然の摂理にもとづく「理の知」と、安全・快適・コストなどの人間中心のテクノロジーである「工の知」との融合を図ります。

- 機械工学科 / 生体医工学科 / 電気電子情報工学科 / 応用化学科 / 都市環境デザイン学科 / 建築学科



総合情報学部 Information Sciences and Arts ● 川越キャンパス

最先端のICT(通信情報技術)を、さまざまな分野の問題発見と問題解決に活用できる能力とともに、自律的な行動力、他者とのコミュニケーション能力、協業力を磨きます。

- 総合情報学科



[大学院・法科大学院 / GRADUATE SCHOOLS]

物事の本質を深く究めるために

In-depth Study of the Nature of Things

東洋大学大学院は、10 研究科 29 専攻と法科大学院からなり、多岐にわたる専門分野において教育・研究活動を行っています。

大学院

文学研究科 Graduate School of Literature ● 白山キャンパス

本学で最も歴史ある研究科であり、人文学を扱う学問分野を8専攻揃えています。修了生は研究職のほか、教員や公務員、学芸員などの高度専門職業人として活躍しています。

○哲学専攻 / インド哲学仏教学専攻 / 国文学専攻 / 中国哲学専攻 / 英文学専攻 / 史学専攻 / 教育学専攻 / 英語コミュニケーション専攻



社会学研究科 Graduate School of Sociology ● 白山キャンパス

調査や実験、理論研究により知識を集積。優れた人材を育成し、多数の研究成果で社会貢献を目指します。高度な判断力を養った問題解決のエキスパートがここから巣立ちます。

○社会学専攻 / 社会心理学専攻



法学研究科 Graduate School of Business Administration ● 白山キャンパス

柔軟に、公平に「法の本質」を貫くことができる現代社会に不可欠な真の法律家を養成します。公法学専攻では税理士志望者への指導を行うなど、実践的教育にも取り組んでいます。

○私法学専攻 / 公法学専攻



経営学研究科 Graduate School of Business Administration ● 白山キャンパス

研究者や高度な専門職業人、グローバルなファイナンス人、そして、マーケティングの専門家を養成する3専攻を設置。また、少人数制を敷いており、論文指導にも注力。

○経営学専攻 / ビジネス・会計ファイナンス専攻 / マーケティング専攻



工学研究科 Graduate School of Engineering ● 川越キャンパス

先端的な研究を担い、先見性のある研究を進める「先進性」、組織や人間の壁を取り除く「開放性」、そして、変える勇気を持ち続ける「柔軟性」の3つを理念とする4専攻を揃えています。

○機能システム専攻 / バイオ・応用化学専攻 / 環境・デザイン専攻 / 情報システム専攻

2014(平成26)年4月、工学研究科は理工学研究科へと改組となります(設置届出済)。

○機能システム専攻 / 生体医学専攻 / 電気電子情報専攻 / 応用化学専攻 / 都市環境デザイン専攻 / 建築学専攻 / 建築・都市デザイン専攻



大学院

経済学研究科 Graduate School of Economics ● 白山キャンパス ● 大手町サテライト

「経済学専攻」は経済学研究者の育成および、企業・官公庁、地球環境に資する人材を提供します。「公民連携専攻」は、新しい公共を生み出す知識と技能を育成する世界で唯一の社会人大大学院です。

○経済学専攻 / 公民連携専攻



国際地域学研究科 Graduate School of Regional Development Studies ● 白山キャンパス

国際協力や地域づくりに携わる高度専門職や研究者を養成する「国際地域学専攻」と世界のツーリズムの発展に寄与する高度専門職を育てる「国際観光学専攻」を設置しています。

○国際地域学専攻 / 国際観光学専攻



生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences ● 板倉キャンパス

生命科学、応用生物科学、食環境科学の3領域を基本とし、相互の関連の中で最先端のテーマを追求。特に極限環境に育成する微生物の分野では、世界をリードする研究が行われています。

○生命科学専攻



福祉社会デザイン研究科 Graduate School of Welfare Society Design ● 白山キャンパス ● 朝霞キャンパス

横断的で自由闊達な研究を行っています。社会人にも門戸を大きく開放し、少子高齢化などの現代的テーマに高い専門性をもって対応できる人材を育成します。

○社会福祉学専攻 / 福祉社会システム専攻 / ヒューマンデザイン専攻 / 人間環境デザイン専攻



学際・融合科学研究科 Graduate School of Interdisciplinary New Science ● 川越キャンパス

バイオサイエンスとナノテクノロジー・材料の2つの重要分野を発展させた新しい学際領域・融合領域を築き、その新興分野を担う次世代の人材を育成しています。

○バイオ・ナノサイエンス融合専攻



専門職大学院

法務研究科(法科大学院) Law School ● 白山キャンパス

「国民の社会生活上の医師」として社会に貢献できる法曹であることを基本としつつ、さらに自己の専門分野を確立し、新たな課題に挑戦する志を持つ法曹の養成を目指します。

○法務専攻



[研究機関 / RESEARCH CENTERS]

社会へ「知」を還元する

Knowledge in the Service of All

研究機関では、最先端の知識を産業界や各地の研究機関との幅広い交流により「知」を蓄積・発展させて、社会へと発信しています。

学術研究推進センター

学術研究推進センター

Center for Academic Research Promotion

全学的な研究プロジェクトなどを推進し、高度かつ多様で個性的な研究活動を進める各種機関を統括。



研究所

人間科学総合研究所

Institute of Human Sciences

幅広い分野の研究者が集い、21世紀の社会を見据えた総合的な学際研究を志向しています。



現代社会総合研究所

Institute of Social Sciences

包括的なアプローチ、多様化・複雑化する現代社会の問題解決を目指す研究拠点です。



東洋学研究所

Institute of Oriental Studies

東洋における諸領域の古典的研究および現代の視座から東洋文化の本質を解明します。



アジア文化研究所

Asian Cultures Research Institute

中国・韓国・東南アジア・中東の文化の諸相を各分野の専門家が学際的に研究しています。



地域活性化研究所

Institute of Regional Vitalization Studies

多様化する地域の課題に対し具体的な対応策を研究。実践を通して地域活性化を目指します。



工業技術研究所

Research Institute of Industrial Technology

産業界との技術交流事業の窓口となり、学内研究の振興と学外交流を通じ相互の向上発展を図ります。



アジアPPP研究所

Asia Public Private / Partnership Institute

PPPに関する研究教育ならびに情報交換、人材交流を行うことを目的として活動しています。



研究機関

研究センター

バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター

Bio-Nano Electronics Research Centre

国際連携による最先端融合研究を推進。国際性を有する若手研究者を育成しています。



計算力学研究センター

Center for Computational Mechanics Research

スーパーコンピュータを用いた計算力学の研究を行い、様々な分野への応用を目指しています。



21世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター

21st Century Human Interaction Research Center

犯罪や事故・災害による被害者や被災者の問題を中心に個人と社会の関係を考えます。



経営力創成研究センター

Research Center for Creative Management

日本初マネジメント・マーケティング・テクノロジーによる新しい競争力の創成。



PPP研究センター

PPP Research Center

我が国で唯一のPPP研究拠点。官民市民協働を進め、地域再生に貢献していきます。



国際共生社会研究センター

Center for Sustainable Development Studies

接続可能な開発を実現するため、「環境共生社会」の構築を追求しています。



生体医工学研究センター

Center for Biomedical Engineering Research

ストレスを可視化しマネージ。高齢化社会を支えるヘルスサポートシステムを構築します。



国際哲学研究センター

International Research Center for Philosophy

今日の多元化した地球社会の諸問題を自覚的に捉え、問題解決型の哲学研究を推進します。



「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ

Transdisciplinary Initiative for Eco-Philosophy

自然と人間に関するエコロジーの哲学的研究やエコロジカルな環境デザインを追求しています。

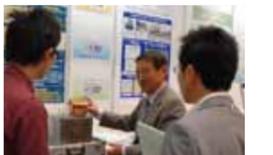


知的財産・産学連携推進センター

知的財産・産学連携推進センター

Center for Intellectual Property & Innovation

研究所や研究センターなどで生まれた知的財産を整備・管理し、社会への還元を有効に施すための基軸機関です。



総合学園計画

Affiliated Expansion Plan

1. 大学機能の都市部への移転・集中
2. 各学校の教育および研究環境の整備・充実
3. 中等教育機関の充実と高等教育との連携の強化

上記を基本方針とする、東洋大学の教育・研究環境整備計画を進めています。

※今後予定されている計画については、変更することもあります。

- 2011年4月 学校法人京北学園と法人合併
京北中学校・高等学校、白山高等学校を東京都北区赤羽台「赤羽台キャンパス」(旧赤羽台中学跡地)に移転し、仮校舎として利用(～2015年3月)
京北学園移転後の校地を活用し、白山キャンパスの新たな施設整備を開始(～2012年11月)
- 2012年度 白山キャンパス既存建物の改修工事を実施
- 2013年4月 国際地域学部・国際地域学研究科・法科大学院の教育研究活動を白山キャンパスにて開始
- 2014年4月 附属姫路中学校(認可申請中)を開校
- 2015年4月 京北中学校・高等学校が文京区白山にて新しい教育活動を開始
- 2017年4月 情報系学部および大学院(設置予定)の教育研究活動を赤羽台キャンパスにて開始
※当初予定していた総合情報学部の赤羽台キャンパスへの移転計画は中止となりました。

— 2013年 創立50周年 —

【兵庫】東洋大学附属姫路高等学校

HIMEJI HIGH SCHOOL affiliated with TOYO UNIVERSITY

附属姫路高等学校は、校訓「自立 友情 英知」のもと、大学進学後や社会人になった後を見据え、豊かな人間力を持ち、広く国際社会で活躍できる人財の育成を目指しています。創立50周年を迎え、高校野球などスポーツを通じた活躍と確かな学力による希望進路の実現との両立を掲げ、教育環境のより一層の充実を図っています。2011年度からは、難関国公立大学現役合格を目指す「スーパー特進コース」を新設。2014年4月には、中学校(認可申請中)を開校し、中高一貫の6年間を通じた体系的な学習環境を実現していきます。



創立：1963(昭和38)年
〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699
TEL. 079-266-2626(代表)
FAX. 079-266-4590

アクセス(直通バス)：JR山陽本線・姫新線・播但線
「姫路駅」より「神姫バスターミナル・中央のりば」から
横間経由「東洋大姫路高校」下車 ※姫路駅から約25分
URL. <http://www.toyo.ac.jp/himeji/>

— 2014年 創立50周年を迎えます —

【茨城】東洋大学附属牛久高等学校

USHIKU HIGH SCHOOL affiliated with TOYO UNIVERSITY

1964年に創立された附属牛久高等学校は、地域に支えられ、愛され、信頼される学校として充実発展し、2012年に48年目を迎えました。豊かな教養と健全な身体を持ち、自ら深く考え、自ら行動する意欲溢れる生徒の育成に努めています。2011年度から「特別進学コース」「進学コース」「スポーツコース」に再編し、コースごとに独自性をもった大胆な学習カリキュラムを組めるようになりました。創立50周年を来年に控え、育てたい生徒像と新しい学校像を描きつつ、学校力を向上させるための改善・改革を積極的に進めています。



創立：1964(昭和39)年
〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1360-2
TEL. 029-872-0350(代表)
FAX. 029-874-1055

アクセス(直通バス)：スクールバス
守谷ルート、つくばルート、新治・つくばルート、阿見ルート、
新利根ルート・河内ルートより「東洋大牛久高校」下車
URL. <http://www.toyo.ac.jp/ushiku/>

— 2011年の法人合併により、学校法人東洋大学の設置校となりました —

【東京】京北中学校・高等学校

KEIHOKU JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2011年の法人合併から3年目を迎え、グローバル社会に対応した学習環境を実現すべく、教育改革を強力に推し進めています。独自の教育システム「K-プロジェクト」を展開し、物事を深く考え、判断し、実行できる能力を身につけ、世界を視野に入れて活躍できる人材育成に努めています。2015年4月より、男女共学(届出予定)とし、哲学教育と国際教育を重視した新しい教育を展開していく予定です。



創立：1898(明治31)年
〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-12
TEL.03-5948-9111(代表)
URL. <http://www.toyo.ac.jp/keihoku/>

アクセス：JR京浜東北線・埼京線・湘南新宿ライン「赤羽駅」西口より徒歩9分
東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道「赤羽岩淵駅」2番出口より徒歩10分
国際興行バス「赤羽台三丁目」より徒歩1分
※2015年4月より文京区白山の新校舎に移転する予定です。

【東京】京北学園 白山高等学校

KEIHOKUGAKUEN HAKUSAN HIGH SCHOOL

京北尋常中学校創設者の井上円了の意思を引き継いだ湯本武比古が、1908年に京北実業学校を設立。自律・協働・創造の校風のもと、学ぶことの大切さを理解し、自ら考え・判断し・行動できる力を育む教育を進めています。2002年に開始した「プロジェクト・ベース学習」は全国でも先駆的な取り組みであり、生徒自らテーマと目的を決め、「調査」「研究」「発表」という追求のプロセスを通じて学習意欲を高めています。

【東京】京北幼稚園

KEIHOKU KINDERGARTEN

1905年、井上円了が人間形成の基礎づくりとして幼児教育の必要性を重んじて創立し、自らが園長となって幼児教育にあたったことが原点です。現在、年長児、年中児、年少児合計105名が在籍。思考力や表現力を会得し、豊かな心を育むための知・徳・体のバランスが取れた成長を促す保育を目指しています。



創立：1905(明治38)年
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-5
TEL. 03-3941-7090(代表)
FAX. 03-3941-7213

アクセス：都営地下鉄三田線「千石駅」
A1出口より徒歩3分
URL. <http://www.toyo.ac.jp/keihoku-kdg/>

最新設備を持つ首都圏に広がるキャンパス

The campus group which spreads in the metropolitan area



01 白山キャンパス ● Hakusan Campus

文学部 / 経済学部 / 経営学部 / 法学部 / 社会学部
国際地域学部 / 文系各大学院 / 専門職大学院 (法科大学院)

創立以来の伝統と知の資産が結集する
都心の近代的なキャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20



02 朝霞キャンパス ● Asaka Campus

ライフデザイン学部 / 福祉社会デザイン研究科

人びとの生活に根差した実用・実学の
実践的な教育を展開するキャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

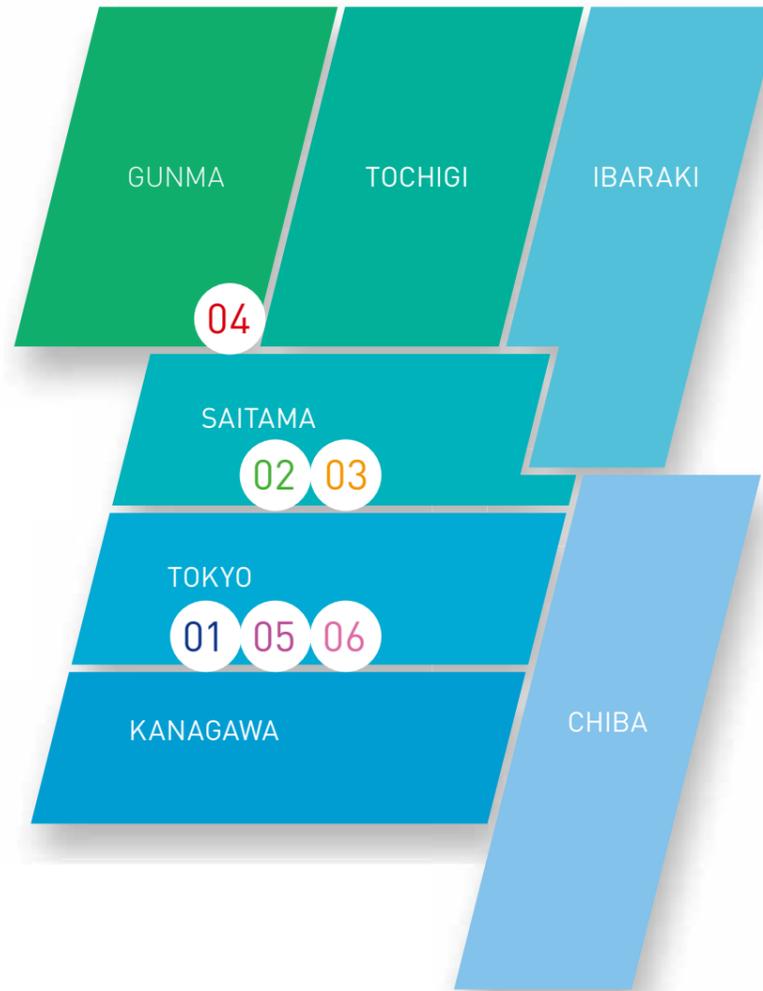


03 川越キャンパス ● Kawagoe Campus

理工学部 / 総合情報学部 / 工学研究科
学際・融合科学研究科

東京ドーム6個分の敷地を誇る
先端技術の拠点となるキャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯉井 2100



04 板倉キャンパス ● Itakura Campus

生命科学部 / 食環境科学部 / 生命科学研究科

地域に根ざした活動も盛んな
バイオテクノロジーの拠点

〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野 1-1-1



05 大手町サテライト ● Otemachi Satellite

アジアPPP研究所 / 経済学研究科公民連携専攻

社会人を対象とした
日本初のPPPスクール

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 1F

2006年4月、日本で初めて公民連携 (PPP) のプロを
育成する大学院、経済学研究科公民連携専攻を開設
と同時に、設置しました。2009年にはPPP研究セン
ターを設立し、2011年7月同センターは国連のPPP
研究機関として認定されました。
(PPP:Public/Private Partnership)



06 総合スポーツセンター ● Sports Center

さまざまなスポーツ施設を備えた
アスリートのための総合センター

〒174-0053 東京都板橋区清水町 92-1

2011年4月、白山キャンパスから約20分で移動が可
能な板橋区清水町に「東洋大学総合スポーツセンター」
が完成しました。体育実技・講義の場が広がること
も、部活動のための施設が充実。また、地域と連携
した取り組みなども予定しています。

